

# それぞれの道へ、新たな一歩 専門学校2校で卒業式

専門学校島根エーデザインカレッジの卒業式が3月10日に行われ、2年間の専門課程を修了した「ビジュアルデザイン科」および「アート科」の卒業生、総勢30名に谷口校長より卒業証書が授与されました。

卒業生代表のモンゴル出身のポルドル・ビヤムバジャルガルさんは「ここで得た学びと仲間との絆を大切に、それぞれの道で挑戦を続けてください」と在校生に呼びかけ、在校生代表の足立博基さんからは「先輩方の姿を胸に、私たちも成長していきます」と門出を祝う言葉が贈られました。

4月からは新たに60名の学生を迎え、10カ国以上の仲間とともに新たな学びを開始します。



島根リハビリテーション学院の卒業式が、3月10日に奥出雲町民体育館にて執り行われました。4年間の専門課程を修了した理学療法学科29名、作業療法学科22名の卒業生に対し、紫藤治学院長より卒業証書が授与されるとともに、高度専門士の称号が付与されました。

卒業生を代表して、理学療法学科の福田丈真さんが答辞を述べ、これまで支えてくれた教員や家族、友人への感謝の気持ちを伝えました。また、「春からは対象者に寄り添い、支える立場になります。シミリハで学んだことを活かし、最高のセラピストとなって、これまで支えてくださった方々に恩返しをしていきたいです」と、今後の抱負を語りました。



高橋正美さんは昭和35年から教員として24年間、教頭として5年間、校長として9年間、児童・生徒の教育や社会教育、PTA活動の進展に貢献されました。退職後は三沢幼稚園の園長として幼児教育の推進に尽力され、また、平成13年4月から11年2か月にわたり奥出雲町人権擁護員を務め、地域住民の人権相談に応じながら人権尊重の啓発活動を行われました。これらの多数の功績により、この度叙勲の栄に浴されました。

# 第25回全国小学生ソフトテニス大会 (男子5年生の部) 出場

横田ソフトテニスクラブとして小学生部門 初出場



3月30日～31日に千葉県で開催された全国大会(男子5年生の部)に横田ソフトテニスクラブ所属の石原 新さん・寺本大賀さん(ともに横田小)ペアが出場されました。同クラブから小学生部門における全国大会出場は初の快挙です。

試合では予選リーグ敗退ではありませんでしたが、緊張の中でも日頃の練習の成果を発揮し、他県の選手との交流も深めるなど、技術面・精神面ともに大きな成長に繋がる貴重な経験となりました。

# 瑞宝双光章



高橋正美さん(下鞍掛)

高橋さんは昭和35年から教員として24年間、教頭として5年間、校長として9年間、児童・生徒の教育や社会教育、PTA活動の進展に貢献されました。退職後は三沢幼稚園の園長として幼児教育の推進に尽力され、また、平成13年4月から11年2か月にわたり奥出雲町人権擁護員を務め、地域住民の人権相談に応じながら人権尊重の啓発活動を行われました。これらの多数の功績により、この度叙勲の栄に浴されました。



受賞された皆さん

<b>うるち米の部</b>	最優秀賞 大坂 茂さん 優秀賞 藤原 勇人さん 優良賞 藤原 光博さん 優良賞 田中 茂樹さん 優良賞 岸本 光吉さん 優良賞 友塚 正巴さん	<b>酒米の部</b>	最優秀賞 (農)おくだに 裕子さん 優秀賞 山根 吉徳さん 優良賞 石原 隆幸さん 優良賞 石原 隆幸さん
<b>もち米の部</b>	最優秀賞 藤田 忠さん 優秀賞 恩田 英一さん 優良賞 松村 吉雄さん	<b>仁多米ブランド特別賞</b>	最優秀賞 児玉 利治さん 優秀賞 藤原 広実さん 優良賞 鳥川 孚生さん

**令和7年度 奥出雲町良質米品評会 表彰式**

令和7年度奥出雲町良質米品評会の表彰式が、3月17日に役場仁多庁舎で行われました。

この品評会は、「仁多米」の栽培技術の向上と生産者の意識高揚を目的として、良質米の生産で優れた成績を挙げた生産者を各部門で表彰するものです。

今回の出品数は88点あり、島根県東部農林水産振興センターと島根県農業協同組合の審査員によって農産物検査規格に基づき比較審査が行われ、4部門において計15の生産者が受賞されました。

講評では今年度は猛暑の影響等でうるち米※1等米比率が県全体で69.4%であったのに対し、本町産全体では93.6%と高水準で、生産者の皆様のきめ細やかな栽培管理の結果であると高く評価されました。

※一等米とは、玄米の状態では整粒値が70%以上、水分量が15%程度で、死米、着色粒、もみ等の異種穀粒、異物の含有率が基準以下のお米を指します。

# 水道料金の基本料金を値上げ分を減免します

奥出雲町では、水道料金を令和8年4月使用分(5月請求分)から基本料金20%、従量料金10%の値上げを実施させていただきますが、この度、使用者の皆様の経済的負担を軽減するため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金/重点支援地方交付金」を活用し、**基本料金の値上げ分を令和8年4月使用分(令和8年5月請求分)から令和8年12月使用分(令和9年1月請求分)まで減免します。**

**対象者(手続きは不要です)**  
町の水道を使用している全ての方(ただし用途が公共用の場合は除く)

**減免の内容**  
水道料金のうち「基本料金の値上げ分」(請求時に旧料金で算定します)

**その他**  
下水道使用料は減免対象ではありません。

種別	基本料金		差額(今回減免額)	摘要
	旧料金	新料金		
一般用	1,349円	1,619円	270円	一般家庭等
営業用	2,709円	3,251円	542円	料理飲食店、理髪店、美容院、食品製造業、民間病院、工業、諸団体用
臨時用	1,464円	1,757円	293円	その他一時仮設給水

**お問い合わせ)**  
水道課  
電話: 52-26676  
有線: 20-4285

# 笑顔あふれる新たな門出 よこたこども園 開園式



奥出雲町の未来を担う子どもたちの新たな学び舎として、「よこたこども園」がこのたび開園し、晴れやかな門出を迎えました。

本園は、横田地域にあった横田幼稚園、横田幼稚園八川分園、馬木幼稚園の3園が3月末をもって閉園したことに伴い、新たに開設された、学校法人仁多学園が運営する幼保連携型認定こども園です。それぞれの園で育まれてきた歴史と想いを受け継ぎながら、地域の子育て環境のさらなる充実を目指します。

開園式当日は、糸原徳康島根県議会議員をはじめとする多くの来賓、そして園児や保護者が出席し、会場は終始にぎやかな雰囲気包まれました。

式の前に行われた除幕式では、町長や来賓に加え、園児たちも参加。看板が披露されると、会場からは大きな拍手とともに笑顔が広がり、新たな園のスタートを象徴

奥出雲町の未来を担う子どもたちの新たな学び舎として、「よこたこども園」がこのたび開園し、晴れやかな門出を迎えました。

本園は、横田地域にあった横田幼稚園、横田幼稚園八川分園、馬木幼稚園の3園が3月末をもって閉園したことに伴い、新たに開設された、学校法人仁多学園が運営する幼保連携型認定こども園です。それぞれの園で育まれてきた歴史と想いを受け継ぎながら、地域の子育て環境のさらなる充実を目指します。

開園式当日は、糸原徳康島根県議会議員をはじめとする多くの来賓、そして園児や保護者が出席し、会場は終始にぎやかな雰囲気包まれました。

式の前に行われた除幕式では、町長や来賓に加え、園児たちも参加。看板が披露されると、会場からは大きな拍手とともに笑顔が広がり、新たな園のスタートを象徴



子どもたちの笑顔と成長を見守る新たな拠点として歩み始めた「よこたこども園」。地域とともに歩みながら、これからは温かな学びとふれあいの場を育んでいきます。

また、式では園児によるお祝いの歌や園歌の披露も行われ、元気いっぱいのお歌が会場に響き渡りました。新しい園のスタートを祝うその歌声は訪れた人々の心に温かく残るひとときとなりました。

なお、閉園した旧八川分園舎は、これまでの特色を活かし、木の遊具を活用した「木育施設」としての整備が進められています。また、旧馬木幼稚園についても、隣接する川を活かした環境教育の場としての利用が予定されており、地域資源を活かした新たな展開が期待されています。

